

神戸層群の葉の化石の種類を調べています



自然・環境評価研究部 地球科学研究グループ 半田 久美子

葉っぱって意外とスゴイのです。何がすごいかというと、見るべきポイントの数が多いのです。みなさんは、いくつくらいあると思いますか。右のチェックシートをご覧ください。ここにあるだけで64個もあります。そして、展示ケースにある葉の特徴の説明書の厚さはなんと1.3cm。びっくりしていただけたでしょうか。

このシートや説明書を使うのは、現在の植物の研究者ではありません。植物化石の研究者です。葉の化石の形態から種類を特定するために、この本が生まれました。このシートをすべて埋めれば植物の種類がわかる、という魔法のシートではないのが残念ですが、ここに記録するために葉の化石を詳細に観察していくことで、種類を調べるための特徴となるヒントが浮かんでくるかもしれません。あれと近いかも、というアイデアを逃さず、現在の葉や葉脈標本、化石の写真など手当たり次第比較して探っていきます。

現在困っているのはクヌギ／クリ問題です。現生種なら、クヌギ／アベマキ／クリの葉はとてもよく似ていますが、葉の裏の毛と鋸歯の色で見分けられます。しかし化石にはどちらの特徴も残っていないのです。今はまだクヌギの仲間とクリの仲間の葉を区別するポイントが見出せていませんが、じっくり取り組んで行きたいと思います。

現生植物の葉の図鑑をめくりながら、「ない…ない…これも違う…」とぶつぶつ言っている人がいても、生暖かい目で見守っていただけたら幸いです。

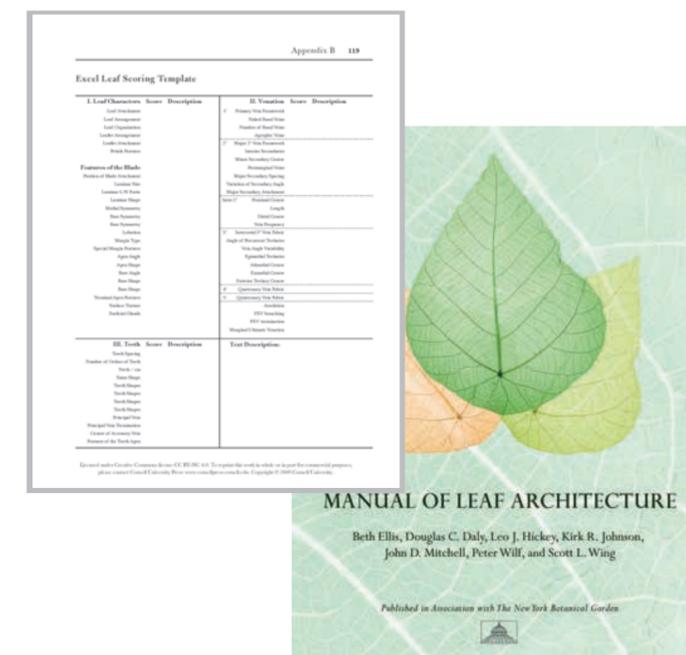


図1 葉の特徴を調べるためのシートと説明書



図2 神戸層群のクヌギまたはクリの仲間の葉の化石